

「畑に隠された宝のたとえ、高価な真珠のたとえ」

§ 064 マタ 13 : 44~46

1. はじめに

(1) 文脈の確認

- ①イエスの教えは、たとえ話を中心となった。
- ②9つのたとえ話のテーマは、「奥義としての王国」である。
- ③チャートで「奥義としての王国」の意味を確認する。

(2) 「奥義としての王国」に関する9つのたとえ話

- ①種蒔く人のたとえ (詳細な解説がある)
- ②種のたとえ
- ③毒麦のたとえ (詳細な解説がある)
- ④からし種のたとえ
- ⑤パン種のたとえ

これ以降、弟子たちだけに話したたとえ話になる。

- ⑥畑に隠された宝のたとえ
- ⑦高価な真珠のたとえ
- ⑧網のたとえ
- ⑨一家の主人のたとえ

(3) A. T. ロバートソンの調和表

「最初の主要なたとえ話群」 (§ 64)

2. アウトライン

- (1) 畑に隠された宝のたとえ (マタ 13 : 44)
- (2) 高価な真珠のたとえ (マタ 13 : 45~46)

3. 結論 : 現代への適用

畑に隠された宝と高価な真珠のたとえを理解する。

I. 畑に隠された宝のたとえ

「天の御国は、畑に隠された宝のようなものです。人はその宝を見つけると、それを隠して

おいて、大喜びで帰り、持ち物を全部売り払ってその畑を買います」(44節)

1. 間違った解釈

(1) イエスが解釈していないので、種々の解釈が生まれる。

- ①畑に隠された宝とは、福音のことである。
- ②その宝を見つけた人とは、罪人のことである。
- ③その人は、あらゆる犠牲を払って、その畑を買う。

(2) この解釈の問題点

- ①これまでのたとえ話(奥義としての王国)の流れに合っていない。
- ②業による救いを教える結果になる。

2. 「宝」とはイスラエル人のことである。

(1) 出 19 : 5

「今、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはすべての国々の民の中であって、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから」

(2) 申 14 : 2

「あなたは、あなたの神、【主】の聖なる民である。【主】は、地の面のすべての国々の民のうちから、あなたを選んでご自分の宝の民とされた」

(3) 詩 135 : 4

「まことに、主はヤコブを選び、ご自分のものとされ、イスラエルを選んで、ご自分の宝とされた」

(4) 「畑に隠された宝」の意味

- ①人目に触れない宝
- ②奥義としての王国の間、イスラエル人は世界に離散した民となる。

3. 持ち物を売り払って畑を買う人は、イエス・キリストである。

(1) イエスの辱めの預言

- ①人間としての誕生
- ②十字架の死

4. このたとえ話が教えていること

「畑に隠された宝のたとえ、高価な真珠のたとえ」

(1) 奥義としての王国の間、イスラエルの民の中から救われる人たちがいる。

①これが、レムナント（イスラエルの残れる者）である。

(2) ロマ 11 : 4~5

「ところが彼に対して何とお答えになりましたか。『バアルにひざをかがめていない男子七千人が、わたしのために残してある』。それと同じように、今も、恵みの選びによって残された者がいます」

①「恵みの選びによって残された者」とは、メシアニックジューのことである。

(3) ガラ 6 : 15~16

「割礼を受けているか受けていないかは、大事なことはありません。大事なのは新しい創造です。どうか、この基準に従って進む人々、すなわち神のイスラエルの上に、平安とあわれみがありますように」(新改訳)

「割礼のあるなしは問題ではなく、ただ、新しく造られることこそ、重要なのである。この法則に従って進む人々の上に、平和とあわれみとがあるように。また、神のイスラエルの上にあるように」(口語訳)

①新改訳、新共同訳は誤訳である。

②「神のイスラエル」とは、メシアニックジューのことである。

③パウロは、異邦人信者と、ユダヤ人信者を祝福している。

## II. 高価な真珠のたとえ (45~46 節)

「また、天の御国は、良い真珠を捜している商人のようなものです。素晴らしい値うちの真珠の一つ見つけた者は、行って持ち物を全部売り払ってそれを買ってしまいます」(45~46 節)

### 1. 間違った解釈

(1) イエスが解釈していないので、種々の解釈が生まれる。

①高価な真珠とは、福音のことである。

②その真珠を見つけた人とは、罪人のことである。

③その人は、あらゆる犠牲を払って、その真珠を買う。

(2) この解釈の問題点

①これまでのたとえ話（奥義としての王国）の流れに合っていない。

②業による救いを教える結果になる。

2. 高価な真珠とは何か。

(1) 「宝」ほど意味が鮮明ではない。

①類推によって意味を見つける必要がある。

②宝がユダヤ人のことなら、真珠は異邦人のことではないか。

③真珠は海から採れる(ペルシヤ湾が有名)。

④海という言葉が象徴的に用いられた場合は、異邦人世界を指す。

⑤これらのことから、高価な真珠は異邦人信者のことである。

(2) ダニ 7 : 2~3

「ダニエルは言った。『私が夜、幻を見ていると、突然、天の四方の風が大海をかき立て、四頭の大きな獣が海から上がって来た。その四頭はそれぞれ異なっていた』」

①海とは、異邦人世界のことである。

②この幻は、異邦人世界から出て来る支配者に関するものである。

(3) 黙 17 : 1

「また、七つの鉢を持つ七人の御使いのひとりが来て、私に話して、こう言った。『ここに来なさい。大水の上ですわっている大淫婦へのさばきを見せましょう。地の王たちは、この女と不品行を行い、地に住む人々も、この女の不品行のぶどう酒に酔ったのです』」

(4) 黙 17 : 15

「御使いはまた私に言った。『あなたが見た水、すなわち淫婦がすわっている所は、もろもろの民族、群衆、国民、国語です』」

3. 商人とは、イエス・キリストである。

(1) この商人は、持ち物を全部売り払った。

結論：現代への適用

1. これまでのたとえ話では、奥義としての王国においては、善と悪がともに存在することが教えられていた。

2. 今回の2つのたとえ話は、奥義としての王国の間に、救いに与るユダヤ人と異邦人がともに起こされることを教えている。

(1) それは、ユダヤ人個人としての救いである。

- ①現在ユダヤ人伝道を行う理由が、そこにある。
- ②民族的救いは、大患難時代の最後、再臨の直前に実現する。
- ③それから、メシア的王国が成就する。
- ④メシア的王国は、メシアが王として地上において王国を統治される状態である。

(2) 異邦人も救われるというのは、弟子たちにとっては新しい情報であった。

①使 15 : 13~14

「ふたりが話し終わると、ヤコブがこう言った。『兄弟たち。私の言うことを聞いてください。神が初めに、どのように異邦人を顧みて、その中から御名をもって呼ばれる民をお召しになったかは、シメオンが説明したとおりです』

- ②エルサレム会議で、異邦人の救いの条件について議論された。
- ③ペテロが自らの体験を話した。
- ④バルナバとパウロが、伝道旅行の成果を分かち合った。
- ⑤イエスの弟のヤコブが裁定を下した。
- ⑥「主の御名をもって呼ばれる民」は、高価な真珠である。

3. 畑を買った人も、高価な真珠を買った人も、ともに最大の犠牲を払った。

(1) これは、イエス・キリストの犠牲を意味している。

- ①イエスは、十字架への道を歩んでおられた。
- ②弟子たちとイエスの認識には、大きな隔りがあった。
- ③イエスは、ユダヤ人の中からも、異邦人の中からも、救いに与る人を起こそうとしておられた。

(2) 2 コリ 8 : 9

「あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられました。それは、あなたがたが、キリストの貧しさによって富む者となるためです」

(3) ピリ 2 : 4~8

「自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。あなたがたの間では、そのような心構えでいなさい。それはキリスト・イエスのうちにも見られるものです。キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました」